

新たな医療機器開発のための人材を育成します ひろしまバイオデザイン 第3期フェローシップコース

広島大学では、医療機器の開発にデザイン思考の手法を取り入れ、イノベーションをもたらす人材の養成プログラム「バイオデザイン」の受講生を募集します。



ひろしまバイオデザイン



SCHOOL OF INTERNATIONAL
BIODESIGN

開講期間 *内容により変更可能

令和3(2021)年4月 ~ 令和4(2022)年3月

場 所

広島大学 霞キャンパス 及び 県内の医療機関
(広島市南区霞 1-2-3)

概 要

*新型コロナウイルスの影響により内容変更の可能性あり

- 米国スタンフォード大で確立された実践的な教育プログラム、世界中で展開され、20年にわたる実績をもちます
- 国内では、東京大、大阪大、東北大につぐ4校目の開講
- 医療現場の徹底した観察により、潜在的ニーズを探索し、本当に必要とされる医療機器の開発につながる手法を習得
- 医療従事者、デザイナー、エンジニア、経営企画、管理、財務など異なる専門分野から多様性のあるフェローチームを編成
- 広島県の協力による共同研究講座において、インド・バイオデザイン (SIB) と連携したプログラムとして運営されます

募集内容 【1月29日(金)締切】

- 定員4名程度 (受講料が必要となります。)
- 医療機器イノベーション、起業に興味のある方
- 原則として、修士課程以上を修了 (見込み含む) , もしくは5年以上の実務経験をもつ方

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/hiroshimabio>



運営・お問い合わせ

広島大学学術・社会連携室
バイオデザイン共同研究講座 (担当: 迫)
MAIL: biodesign@office.hiroshima-u.ac.jp
TEL: 082-257-1992/1555

Hiroshima Biodesign

コース概要 (予定)

- 基本スケジュールは、事業化までのステップを4フェーズにプロセス化
- 事業の進捗や、ニーズの取扱いなど、ご要望に応じたカスタマイズ可能

コース	内容	備考
フェローシップ	12か月のフルプログラム (従来型)	医療現場観察が可能な場合に開講
ニーズ持込み	受講者がニーズを持ち込み、検証	企業のチーム活動を6か月程度指導
手持ちニーズ提供	当講座が保有するニーズの中から選択し、事業化	個人・企業問わず

基本スケジュール (フェローシップ)

	フェーズ	内容	備考
4月	DISCOVER	開始式 チームビルディング オリエンテーション・医療現場観察①	演習 I
5月		医療現場観察② 「観察と課題の特定」	
6月		医療現場観察③ 「ニーズの記述」	
7月	DEFINE	ニーズの選択① 「疾病の基礎・既存の治療法」	
8月		ニーズの選択② 「ステークホルダーと市場の分析」	
9月		ニーズの選択③ 「ニーズの絞込み」	
10月	DESIGN	コンセプト創出① 「アイデア出し・解決策の創出」	
11月		コンセプトの創出② 「プロトタイプ製作」	
12月		コンセプトの創出③ 「最終コンセプト選択」 →Medtech Summit 2021 (インド) 参加	
1月	DEPLOY	事業化① 「開発戦略とビジネスモデル」	
2月		事業化② 「計画立案と実践」	
3月		修了式	